



川崎競馬倶楽部



SINCE 1990



<http://www.kawasakikikeiba.com>

〒212-0002 川崎市幸区小向仲野町15-4 川崎競馬倶楽部 2008年2月号

～平成19年度の川崎競馬は2月29日で終了～

重賞勝ち馬が続々。川崎馬が大活躍！

東京2歳優駿牝馬

<1月31日 大井競馬場 2歳牝1600m>



マダムルコント

父メジロライアン
 母フルーリアル
 牝2005年生 栗毛
 馬主 栗山正
 調教師 田邊陽一
 騎手 町田直樹
 厩務員 深野壘
 生産者 新井昭二

photo by RORO

完勝！ マダムルコント2歳女王戴冠

2007年日本競馬界最後の重賞を制したのはマダムルコント。ローレル賞に続いての東京2歳優駿牝馬優勝で堂々2歳女王の座に輝いた。
 3コーナーで先頭に並びかける積極的なレース運び。直線後続を振り切ってゴール。「レースとしては反省点もあります。早く動きすぎたかなと。最後張田さんに迫られましたが馬が根性を出してくれた。馬に勝たせてもらいました」と大一番に強い20歳町田直希騎手。
 「馬体を見る限り体重減は気にならなかった。ちょっと仕掛けが早いかなと思ったがゴール前に並びかけてくる馬が外から来たことでさらに伸びたから結果的に良かったのかもしれない。最後は祈るような気持ちだったよ」と田邊陽一調教師。「このあとは桜花賞を目標に、ササ針して牧場へ。休養先でもプールや坂路で調整を続けて仕上げていきたい」と桜花賞へ向かうプランだ。

報知オールスターカップ

<1月3日 川崎競馬場 4歳上2100m>



エスプリベン

父カコイーシーズ
 母イシノアイランド
 牡2004年生 栗毛
 馬主 依田泰雄
 調教師 久保秀男
 騎手 山崎誠士
 厩務員 河崎和博
 生産者 高村伸一

photo by Mr.O

エスプリベン逃切り勝ち 年男・山崎Jが泣いた！

「体質が弱くてここまでくるのに色々あってそれを一つ一つ乗り越えてきた馬。確実に強くなっています。この優勝は特別な勝利です」と涙を拭おうとしなかった河崎和博厩務員。クラウンカップに続き2つ目の重賞制覇となった。「砂をかぶらないように気をつけて乗ろうと思っていました。後ろを気にしながら逃げていたんですが直線で馬が集中してくれて。遊び遊び走る面もまだあるので距離延びたのも良かったんだと思います」と手綱を取った山崎誠士騎手。南関東では初めての重賞制覇に涙をこぼしながら戻ってきた。「春の時点では幼さばかりが目立ったが、だんだんと強化して心身共に大人になってきたね。逃げて競りかけられなかったことなど展開的にもすべてがうまくいった」と久保秀男調教師。男たちが涙を流す感動の戴冠となった。

ニューイヤークップ

<1月23日 浦和競馬場 3歳1600m>

ゲンキチホマレ

父ティンバーカントリー
 母ケイワンピーナス
 牡2005年生 栗毛
 馬主 荒井元明
 調教師 秋山重美
 騎手 町田直樹
 厩務員 友定伸介
 生産者 坂田牧場



写真提供 柳原P

重賞男・町田Jゲンキチホマレ6馬身圧勝

前がやり合う展開のなか後方でじっとタイミングを図っていた町田騎手の手綱。向正面で一気にスパートをかけると4コーナー入り口ではすでに先行集団。そこから6馬身突き抜ける圧勝劇だった。小回りの浦和コースとは思えぬ強さを見せつけた。
 秋山調教師にとってはうれしい600勝目がゲンキチホマレでのニューイヤークップ優勝。「町田が乗って、重賞で。最高の区切りになった」と愛弟子の活躍にも目を細める。「逃げ馬が多い展開などあったにせよ小回りであれだけ強い勝ち方をして力の違いを見せた。ホントいい脚を長く使うね。まだ弱い面もあって回復が遅れないように調教内容に気をつかうが、これもだんだんと積み重ねて強化していくこと」とゲンキチホマレの強さはクラシックへの手応えを感じさせる。前哨戦の京浜盃へ向かう予定。

報知グランプリカップ

<2月6日 船橋競馬場 4歳上1800m>

ブルーローレンス

父シャンハイ
 母モガミヒカリ
 牡2001年生 鹿毛
 馬主 黨大介
 調教師 足立勝久
 騎手 的場文男
 厩務員 富士木和男
 生産者 橋本牧場



photo by danna

古豪復活ブルーローレンス波乱混戦捌く

雪が舞うなか7番人気に推された7歳の古豪ブルーローレンス。的場文男騎手の久々のコンビで好位を追走。スタートからゴールまで波乱の大混戦を捌いてゴール。「あと200メートルというところからよく伸びてくれた」と的場文男騎手。05年テレビ埼玉杯以来、2年7ヶ月ぶりの重賞制覇。古豪健在をアピールした。
 「前走と比べても調子を上げていたし自信はあった。まだまだ活躍できる馬。直線でインが狭くなる不利があったが的場騎手が早めに切り替えて外に出しそこからの踏ん張りが素晴らしかったね」とベテラン富士木厩務員。距離の懸念を払拭したかたちだが次走は東京シティ盃からマイルグランプリと今後はマイル中心のローテーションが組まれる予定だ。

2007 川崎競馬リーディングの顔



2007年の南関東は新たな波に向かって変化の多い1年でした。その中でも川崎競馬関係者の飛躍はめざましく、調教師部門では池田孝厩舎がリーディングに君臨する船橋の川島正行調教師に真っ向勝負を挑み、ついに待望の南関東リーディングの座を奪取しました。池田孝77勝うち川崎では66勝を挙げています。「南関東リーディングは開業したときの目標ではあったが今は通過点と考えている。数字的には満足していないし賞金面でもトップを目指さなければ。今年年間100勝を目標に立て狙う。トップに一度たったら勝負は次。継続しなければ本物が無い。そういう意味でも真価を問われる1年になりそうだ。スタッフ丸となって今年もがんばります。」



騎手部門では2007年も内田博幸騎手が南関東4場でトップ。川崎でも地元以外の騎手の躍進が顕著な1年だったが、第2位は続くのは4場で172勝、地元で76勝を挙げた騎手会長・今野忠成騎手。「172勝は自分としては物足りないが2007年はケガもなく1年を通して乗ることができフリーオーソで大きな仕事もできて充実した1年だった。今年地元馬で大きなレースを勝ちたいし、本当のトップに立ちたい。そのための努力は惜しまないつもり。」

第6回佐々木竹見カップ ジョッキーズグランプリ

生涯成績7,153勝。さまざまな金字塔を打ち立て鉄人の名で知られた佐々木竹見さんを記念した佐々木竹見カップ・ジョッキーズグランプリも今年で6回を数え1月29日の川崎競馬場がその舞台。夢のオールスター戦は2競走のポイント制により総合結果が決まりトップジョッキー達の熱きバトルが繰り広げられました。

総合優勝は菅原勲騎手

順位	騎手	所属	第1戦	第2戦	合計点
1	菅原勲	岩手	1着 50	3着 33	83
2	岡部誠	愛知	5着 22	1着 50	72
3	戸崎圭太	大井	2着 38	4着 27	65
4	後藤浩輝	JRA	6着 16	2着 38	54
5	内田博幸	大井	4着 27	7着 13	40
6	五十嵐冬樹	北海道	3着 33	12着 4	37
7	田中学	兵庫	取消 4	5着 22	26
8	赤岡修次	高知	12着 4	6着 16	20
9	武豊	JRA	7着 13	11着 5	18
10	山口勲	佐賀	11着 5	8着 10	15
11	今野忠成	川崎	10着 6	9着 8	14
12	繁田健一	浦和	8着 10	14着 2	12
13	石崎隆之	船橋	9着 8	13着 3	11
14	東川公則	笠松	取消 4	10着 6	10

7R マイスターチャレンジ



菅原勲騎手が騎乗したニシノナデシコの逃げ切り勝ち。

9R ヴィクトリーチャレンジ



直線の競り合いを制した岡部誠騎手のエッチケイタイガーの勝利。



アンパサンドがフェブラリーステークス挑戦



フェブラリースS(2月24日東京ダート1600m)に挑戦したアンパサンド。好位インにとりつき、直線の坂でも失速することなく10着に健闘しました。「レース内容に満足している。戸崎騎手にはとにかく前目で競馬をしてペースに乗って欲しいと注文したがその通りに乗ってくれたし、アンパサンドもよくついていった。先々につながる収穫の大きいレースだった。俺はしつこいからね(笑)。また挑戦しにいくよ」と池田孝調教師。戸崎騎手も「芝経験があるからか最初の芝部分にとまどうこともなかった馬がきっちりペースについていきました。最後の坂でバテてしまうかと思ったらそこから伸びてくれたんで驚きましたね」とアンパサンドの底力を再認識したと言います。次走は4月大井のマイルグランプリを予定。池田調教師の言葉通り、いずれ再びの中央挑戦する日もありそうです。

ディラクエが内田厩舎入厩



北海道所属馬として参戦した全日本2歳優駿のあと内田勝義厩舎に移籍したディラクエ。先行馬を捕らえきれず2着とはいえモノ凄い末脚は強烈なインパクトを残しました。南関東クラシック参入に向けて再調整のため社台の山元トレセンで乗り込まれていましたが2月25日に内田厩舎に入厩しました。翌朝には今野騎手を背に小向の調教馬場入りし、これで名実共に川崎の所属馬としての再スタート。京浜盃から南関東クラシックロードにの予定です。「ディラクエ」はウイグル語で「魂の叫び」という意味があるそうです。

エスプリベン休養へ



エスプリベンが休養に出されることになりました。前走の報知グランプリCでは先行しながらも着。まだ心身共に成長している段階。将来ある馬だからこの辺でいったん精神面の疲れをとるため2、3ヶ月リフレッシュさせるつもり」と久保秀男調教師。報知オールスターCで見せた非凡なスピード再現のため英気を養います。復帰戦は未定。

おつかれさま 平成19年12月退厩馬

厩舎名	馬名	性別	退厩先	退厩理由
佐々木仁	ディーエスアリダ	牡3	栃木県	乗馬
佐藤健二	オークブリティ	牝8	青森県	繁殖
池田孝	キンセイジャック	牡5	福島県	乗馬
足立勝久	ブルーリート	牝2	東京都	転厩
田島寿一	シゲルアリガトウ	牡3	群馬県	乗馬
秋山重美	コリンシアン	牝3	北海道	繁殖
山田正実	コガネタマル	牝6	茨城県	乗馬
佐藤健二	ダンサーメグ	牝8	神奈川	乗馬
田島寿一	アルパトロス	去7	群馬県	乗馬
岩本洋	ジョウテンゴッド	牡3	神奈川	廃用
安池成実	グリーンセイコー	牝3	埼玉県	転厩
田島寿一	ツルノイナズマ	牡4	神奈川	廃用
村田六郎	ヒカルアスリート	牡5	兵庫県	転厩
福島秀夫	ミスタネガシマ	牝4	静岡県	乗馬
村田六郎	キタサイブ	牝2	神奈川	廃用
武井榮一	ブルーストリーク	牡3	千葉県	転厩
武井榮一	ミヤビキャサリン	牝3	北海道	繁殖
久保秀男	エスプリメガミ	牝4	北海道	繁殖
河津裕昭	コスモビートアウト	牝3	北海道	繁殖
安池成実	グリーンヒルスカイ	牝2	神奈川	乗馬
足立勝久	ムーンハウリング	牝3	東京都	転厩
高月由次	フォワード	牡6	長野県	乗馬
高月賢一	エメラルドクロー	去3	長野県	乗馬
池田孝	キエヌルキア	牝3	千葉県	休養
八木仁	チョウサンジュニア	牡4	栃木県	乗馬
八木正雄	トウカイバースポート	牡6	栃木県	乗馬
村田六郎	コウエイキンカップ	牡5	茨城県	乗馬
池田孝	リステリアエナー	牝6	北海道	繁殖
岩本洋	スタンダードロカ	牡3	神奈川	乗馬
内田勝義	ミュージカルボイス	牝4	群馬県	乗馬
鈴木敏一	スガノキャプテン	牡3	群馬県	乗馬
鈴木敏一	インソーニオ	牝4	群馬県	乗馬
田邊陽一	モエレドラマ	牡3	広島県	転厩
福島秀夫	バトルフリー	牡4	栃木県	乗馬
河津裕昭	カルラアプローズ	牡5	神奈川	乗馬

平成20年1月退厩馬

内田勝義	スーパーリンドウ	牡6	神奈川	廃用
吉橋淳一	サクラトラスト	牡6	群馬県	乗馬
久保秀男	エスプリゴールド	牝3	群馬県	乗馬
田邊陽一	カイトキビースト	牡4	栃木県	乗馬
池田孝	ウイングバード	牡5	福島県	乗馬
佐々木吉	キミキラ	牝4	静岡県	乗馬
山崎尋美	ネネゲース	牝4	北海道	繁殖
山崎尋美	マッキーデザート	牡4	群馬県	乗馬
武井榮一	パームプリンセス	牝3	群馬県	乗馬
梅山和則	レジェンディア	牡4	福島県	乗馬
武井榮一	クロスウォーター	牝3	愛知県	転厩
佐々木仁	ビューティーパール	牝5	栃木県	乗馬
福島秀夫	ヤマノイジス	牝4	栃木県	乗馬
内田勝義	ピュアーフレイム	牝4	北海道	繁殖
内田勝義	ヘヴンジョウオー	牝4	群馬県	乗馬
八木仁	スズランワールド	牡4	岐阜県	転厩
福島秀夫	エンジェルマリモ	牝4	北海道	転厩
田島寿一	シゲルレッドスカイ	牡3	群馬県	乗馬
山崎尋美	ネヴァフル	牡5	群馬県	乗馬
今井輝和	ビービーティアラ	牝3	北海道	転厩
長谷川三	ヨコハマキット	牝4	神奈川	乗馬
佐々木仁	スイートムーン	牝5	栃木県	乗馬
今井輝和	コウゴジョウ	牝4	群馬県	乗馬
河津裕昭	コスモアレックス	牡6	高知県	転厩
秋山重美	マーカッシン	牡5	神奈川	乗馬
佐々木仁	スペースウーマン	牝8	高知県	転厩
長谷川三	キョウエイイーグル	牝5	福島県	乗馬
佐々木仁	グランドタイガー	牡5	栃木県	乗馬
河津裕昭	インヴァリッド	牡7	東京都	転厩

がんばれ本田紀忠特別

2月17日 高知競馬第4レース



1月7日から約3ヶ月間期間限定騎乗で高知競馬場で騎乗している本田紀忠騎手。川崎競馬倶楽部では本田騎手が騎乗する第4競走を「がんばれ本田紀忠特別」として協賛。果敢に先行しましたが直線伸びを欠き6着という結果とはいえ確実に成長している姿を見せてくれました。

「高知にきてからはたくさん乗せてもらえてすごく充実しています。仕事はたいへんだけど、やりがいがあります川崎に戻ったら、いちだんと成長した僕を見てください！これからも応援よろしくお願いします」とメッセージ。がんばれ本田騎手！